

# 新ポスタープリンタの使い方

## 研究室の WindowsXP マシンから出力する準備

### 注意事項

以下に述べるすべての内容はあくまでも2008年12月の原稿執筆時点で確認できた範囲での事例であり、メーカーがサポートしない無保証の情報が含まれています。利用者の利便のために公開しますが、すべての環境で有効であるという確認は取れません。センターでは医学情報室の専用端末からの出力を推奨しています。

### 必要なファイルの入手

医学情報室以外の部屋から出力するためには、プリンタドライバ本体に加えて、LPRポートを作成するソフトウェアも必要です。

キヤノンのサイト <http://canon.jp/> にアクセスし、「ダウンロード」→「大判プリンタ」→と進み、「プリンタドライバ」にある iPF8100 の Windows Vista/Windows 2003/Windows XP 用ドライバ、iPF8100 imagePROGRAF PRINTER DRIVER Ver.4.12 と「アプリケーションソフト」・ユーティリティ」の LPR ソフトウェアにある Canon LPR2 Version 2.22 for Microsoft Windows をダウンロードして下さい。それぞれ実行するとセットアップ用プログラムと必要なファイル一式を含むフォルダに展開されます。

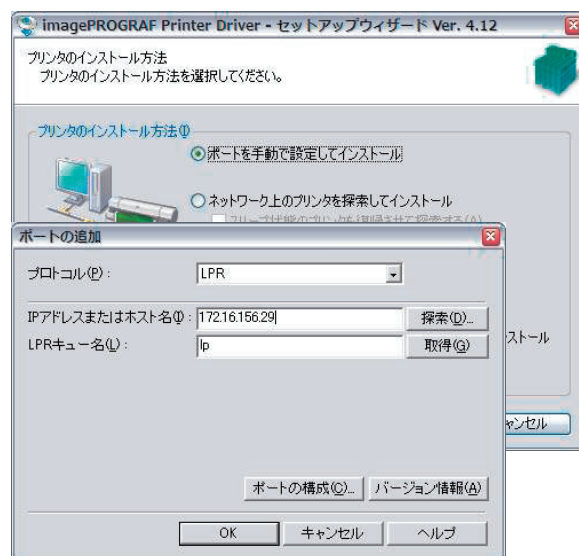
### LPR ポートの作成

以前に DesignJet で紹介したように、LPR プロトコルのポートを使って離れた部屋からの出力を実現します。「LPR ソフトウェア」から展開された Lprport フォルダ内の PDF ファイルを熟読し、「Canon LPR2 をインストールする」の手順に従って下さい。LPR 以外のポートを作る必要はありません。また、Print Monitor のインストールは任意です。インストール完了後は再起動が必要かもしれません。

### ドライバのインストール

次にドライバをインストールします。ダウンロードしたファイルから展開された、iPF8100-Drv-Win-412 フォルダを開き、Setup.EXE を探して起動して下さい。こちらには LPR ポートの時のような PDF ファイルはありません。

プリンタのインストール方法では「ポートを手動で設定してインストール」を選び、ポートの追加で先ほどの Canon LPR 2.0 を選択、



図のように IP アドレス 172.16.156.29 を指定して下さい。

### Office プラグイン

必須ではありませんが、どなたでも簡単に Microsoft Office を使ってポスターを作成できるように、プラグインが提供されています。前述のサイトの Microsoft Office 用 Plug-in から imagePROGRAF Print Plug-In for Office Ver.1.10 をダウンロード、展開し、Readme ファイルを熟読の上、使用するかどうかを決定して下さい。紙幅を一杯に使う長尺印刷には本当に便利です。

# 研究室の WindowsXP マシンから出力する手順

## 注意事項

以下に述べるすべての内容はあくまでも2008年12月の原稿執筆時点で確認できた範囲での事例であり、個別の事情やメディア、使用するアプリケーションの特性については網羅できません。センターでは医学情報室の専用端末からの出力を推奨しています。

## 書類サイズの設定

用意したメディアの幅は36インチもしくは42インチで、料金の単位は長さ90cmです。これを考慮して、書類サイズの設定を考えて下さい。たとえば素直にA0にすると33.11 x 46.81インチなので、どちらの幅でも料金は180cm分になってしまいます。これを少し小さく30 x 42インチで用紙設定すると、42インチ幅で回転出力し、90cm分の料分で済むわけです。臨床講堂の垂れ幕だと2~2.5mで36インチ幅がおすすめです。

Officeプラグインの用紙設定では、必ずメディアの幅が短辺になり、長辺のみ任意に指定できます。図は印刷時に回転させることを見越してA0幅のメディアを指定しているところです。ボックスに直接1066.8ミリと

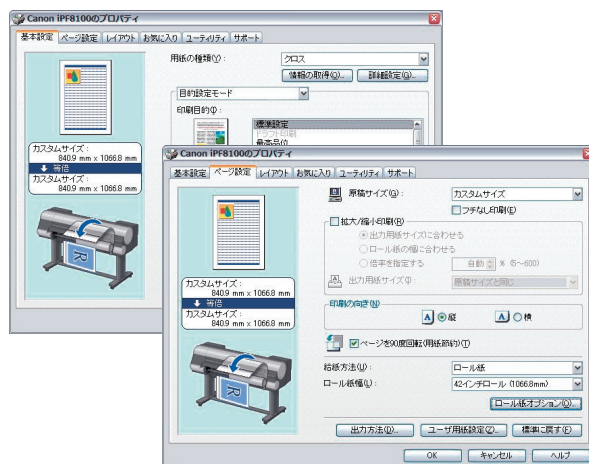


入力したばかりで、まだプレビューの長さが更新されていません。「用紙作成」ボタンで確定します。PowerPointでは、オブジェクトを置いた状態で用紙設定を変更しないようにしてください。書類の縦横比が変わってしまうと、オブジェクトが歪みます。

## 印刷

最初に必ず、医学情報室でプリンタにセットされているメディアを確認して下さい。メディアを交換したら速やかに印刷し、厚コート紙に戻して下さい。交換手順はセンタースタッフにお尋ねください。

印刷ダイアログが表示されたら、必ず「プロパティ」を確認して下さい。原稿サイズや



方向を決める「用紙設定」タブとメディアの種類や幅、色調の設定をする「基本設定」タブは特に重要です。「OK」ボタンで印刷ダイアログに戻り、印刷して下さい。

Officeプラグインによる印刷ははるかに簡単です。ウィザードのメッセージに従い、レイアウトとメディアの種類を設定して「プリント」ボタンを押すだけです。



鍵管理室に寄って医学情報室に着く頃には、ほぼ印刷が終わっていることでしょう。